

関西蓄電池人材育成等コンソーシアム 第6回本会合 議事要旨

1. 日時

令和7年3月11日(火) 15:00~17:00

2. 開催方法

ナレッジキャピタルカンファレンスルーム&オンライン (Microsoft Teams)

3. 参加企業・団体

パナソニックエナジー(株)、パナソニック オペレーショナルエクセレンス(株)、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)、(株)GSユアサ、(株)大阪ソーダ、日置電機(株)、(株)島津製作所、(株)コベルコ科研、日総工産(株)、日研トータルソーシング(株)、技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター (LIBTEC)、(公社)関西経済連合会、(一社)電池工業会 (BAJ)、(一社)電池サプライチェーン協議会 (BASC)

三重大大学、福井大学、京都大学、京都先端科学大学、大阪公立大学、近畿大学、兵庫県立大学、大阪公立大学工業高等専門学校、国立高等専門学校機構、石川工業高等専門学校、新居浜工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校、近畿職業能力開発大学校

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、姫路市、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED)、(国研)産業技術総合研究所 (AIST)、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、(独)製品評価技術基盤機構 (NITE)、文部科学省、経済産業省、近畿経済産業局

(事務局：近畿経済産業局、BAJ、BASC)

4. 議事要旨

資料1 蓄電池産業戦略と今後の方向性について、経済産業省より説明

資料2 バッテリー人材育成の方向性 2025 (案) について、近畿経済産業局・電池サプライチェーン協議会・産業技術総合研究所関西センター・国立高等専門学校機構・大阪公立大学工業高等専門学校・コベルコ科研・近畿大学理工学部・大阪府・兵庫県・和歌山県・徳島県より説明

5. 意見交換における参加者からの発言要旨は以下のとおり。

- 今年度は、参画機関それぞれの取組が活発になるとともに、各者の連携が加速したことで、バッテリー人材の育成が面的に拡大した。人材育成の成果として、バッテリー教育プログラム実施校から、学生の蓄電池業界に対する意識の変化に関する声も見られ、取組が着実に前進しているものと認識。
- 産業界として、育成した人材を受け入れる役割が求められていることを再確認した。蓄電池のものづくりには“人”の力が必要不可欠。明るい蓄電池産業の未来を作っていくために、魅力の発信も含め引き続き前向きに対応したい。
- 高校・高専向けの活動について、教員に対して蓄電池の魅力を伝え、人材育成の重要性に共感いただくことが重要。教育委員会の協力も受けての教育実践が進んでいることは、他の産学連携教育ではあまり見られない好事例。
- 大学について、今後設立される予定の全国蓄電池人材育成等コンソーシアム(仮)においても委員会を設置しての議論が想定される重要なレイヤー。大学における人材育成を検討する際には、多くの大学にバッテリー教育を導入いただくための仕掛け、蓄電池に強みのある大学間の連携、高校での学習内容との接続性等を考慮する必要がある。
- コンソーシアムの活動を継続性あるものにするには、密なコミュニケーションや相互理解により、参画機関の関係性を維持・強化することが重要。2年超の活動を経て蓄積した産学官連携のノウハウ等は、全国蓄電池人材育成等コンソーシアム教育プログラム(仮)にも共有し、人材育成の全国展開に活用いただきたい。

以 上